

日時 9月23日 (木) 14:00~14:30

チャンネル 1 ch

開会講演 1

KL001



◆座長

こばやし りゅうたろう
小林 隆太郎

(日本歯科大学附属病院 教授〈口腔外科〉)

略 歴

1984年 日本歯科大学歯学部卒業 / 1989年 歯学博士 (日本歯科大学大学院歯学研究科 / 日本歯科医学会 総務理事, 厚生労働大臣表彰 (2012年))

【併催学会】 関東地区 障害者歯科 スポーツ歯科 歯科東洋 磁気歯科

命と健康を脅かす気候変動を
くい止めようこいずみ しんじろう
小泉 進次郎

(環境大臣 気候変動担当, 内閣府特命担当大臣 (原子力防災), 衆議院議員)

第24回日本歯科医学会学術大会のご開催を心よりお慶び申し上げます。新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐため、ご尽力されている医療従事者の皆さまに心から感謝申し上げます。大会に参加されている皆さまも、日々の診察やお仕事では大変な緊張感をお持ちだと拝察いたします。改めて、日頃のご尽力に深く敬意を表します。また、伝統ある本大会で開会講演の機会をいただき、誠にありがとうございます。

今回の大会テーマは「逆転の発想 歯科界2040年への挑戦」ですが、私が担当大臣として取り組む気候変動政策も、逆転の発想が不可欠です。今や気候変動政策は経済の負担や重荷ではなく、次の時代への成長と競争力の源泉というのが世界の潮流になってきているからです。

昨年10月、菅義偉首相が2050年までに温室効果ガス排出を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」を宣言したことで、国内の脱炭素や再生可能エネルギーの取り組みが一気に加速し、世界の脱炭素の大競走の中で「不戦敗」を免れました。私自身は本年3月、新たに気候変動担当を命ぜられ、気候変動政策の政府内の調整を担っています。

本年は「気候変動イヤー」とも言える年です。4月中旬の日米首脳会談を皮切りに、米国主催の気候変動サミット(4月)、G7サミット(6月)、国連総会(9月)、G20サミット(10月)、COP26(11月)——と国際会議が多く開催されています。

4月の気候変動サミットにおいて、菅首相は2050年のカーボンニュートラルと整合的かつ野心的な目標として、2030年度に温室効果ガスを2013年度比で46%削減することを目指し、さらに50%の高みに向けて挑戦を続けていくことを発表しました。現代の産業革命とも言うべき、経済社会の大転換に向け、環境大臣としても具体的な移行の道筋を示して、日本が世界で脱炭素の取り組みをリードし、子や孫の世代に責任が持てる地球環境を守るために全力を尽くしてまいります。

これからの時代、人と動物と地球の命と健康は全てつながっている「ワンヘルス」という発想で、気候変動対策も社会保障改革も皆さまと共に進めて参ります。本大会にご参加の全ての皆さまのご活躍とご多幸を心よりお祈り申し上げ、私からの挨拶とさせていただきます。

略 歴

経歴

1998年 関東学院六浦小学校入学、以来中学・高校・大学と関東学院で過ごす

2004年 関東学院大学経済学部卒業

2006年 米国コロンビア大学大学院政治学部修士号取得

職歴

2006年 米国戦略国際問題研究所(CSIS) 研究員

2007年 衆議院議員小泉純一郎秘書

2008年 自由民主党神奈川県第11選挙区支部長

2009年 衆議院議員

2011年 自民党 青年局長

2013年 内閣府大臣政務官 兼 復興大臣政務官

2015年 自民党 農林部会長

2017年 自民党 筆頭副幹事長

2018年 自民党 厚生労働部会長

2019年 環境大臣 兼 内閣府特命担当大臣 (原子力防災)

2020年 環境大臣 兼 内閣府特命担当大臣 (原子力防災) 再任

2021年 気候変動担当大臣 兼務